

# 平成28(2016)年度 人権尊重のまちづくりに向けた意識実態調査

- 三木市人権に関する市民意識調査報告書 -

## 概要版

三木市では、一人ひとりの人権が尊重される明るく住みよいまちづくりを進めるため、平成13(2001)年1月に「三木市人権尊重のまちづくり条例」を施行し、各種団体や市民の皆様とともに差別をなくすためのさまざまな施策を進めています。

しかしながら、少子高齢化や情報社会の進展など社会環境の変化に伴い、差別や人権侵害などの問題も変わってきています。このたび市では、これらの変化に伴う市民意識の推移を把握し、今後の人権施策推進のため、課題を明らかにすることを目的に「三木市人権に関する市民意識調査」を実施しました。

今回の調査結果を平成30(2018)年度からの新たな「三木市人権尊重のまちづくり基本計画」及び「三木市人権尊重のまちづくり実施計画」の策定に反映させるとともに、引き続き人権と共生の視点に立ったまちづくりを進めてまいります。

この概要版では、調査の一部を紹介します。

### ■調査内容

調査票は、次の事項で構成されています。

- ・人権に関する意識
- ・人権侵害の経験とその内容や対応
- ・個別の人権課題に対する考え方  
(女性、子ども、高齢者、障がいのある人、  
同和問題、外国人)
- ・結婚観等
- ・自尊感情
- ・住民学習会

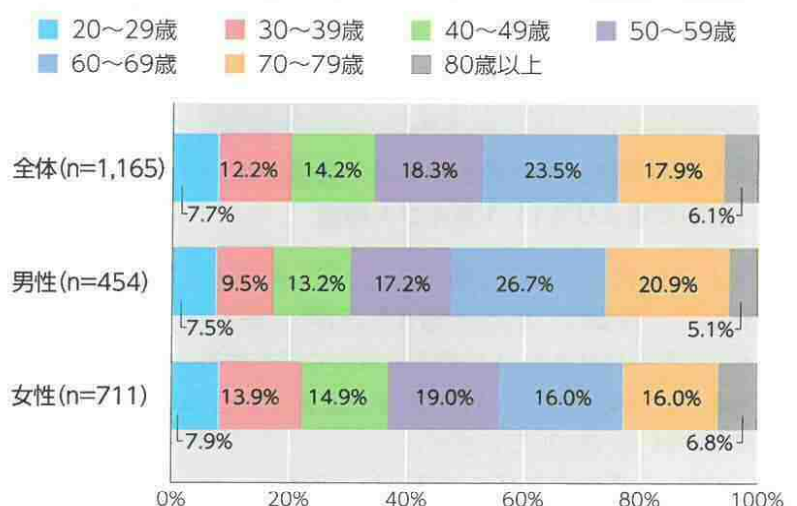
### ■回収結果

配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
3,000	1,178	39.3%	1,176	39.2%

### ■回答者の属性

回答者の61.0%が女性、39.0%が男性で、年齢別では「60～69歳」(23.5%)が最も多く、次に「50～59歳」(18.3%)が続きます。50歳以上で全体の2/3を占めています。

性別年齢別グラフ



※性別あるいは年齢について、無回答であった方を除いています。

- 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女3,000人(外国人を含む)
- 抽出方法：年齢層に配慮した無作為抽出
- 調査方法：郵送による配付及び回収
- 調査基準日：平成28(2016)年11月1日
- 調査期間：平成28(2016)年11月1日～11月30日

※複数回答を求めた設問や小数点以下第2位で四捨五入したことにより、100%ではない場合があります。なお、文中に「前回調査」との比較をしていますが、前回調査とは平成22(2010)年度の調査をさします。  
※図表中の「n」とは、集計対象者数(あるいは該当対象者数)をさしています。

## 1 人権に関する意識

### ■「一人ひとりが、相手を思いやる心をもつこと」が最も多く63.7%

右の図は、「人権が尊重されるとはどのようなことだと思いますか?」という設問に対し、回答の多かった順に項目を並べたものです。回答の少なかったものについては、「みんなと仲良くできること」(26.8%)「差別に対する救済の手だてがあること」(32.0%)「個人の持つ可能性を發揮する機会を与えられること」(37.8%)となっており、それ以外の設問では5割を超えています。

### ■「人権問題は、差別を受けている人にも問題がある」に肯定的な回答の方は27.9%

右の図は、それぞれの意見に対してどう思うかという設問に対する回答をまとめたものです。年齢別にみると、「個人の権利より、地域みんなの利益が優先されるべきである」「単に合理的だという理由で、地域の伝統や慣習を変えることはよくない」「人権問題は、差別を受けている人にも問題がある」という意見に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方は年齢が高くなるほど多く、「大勢の人の考えにあわせてほうが無難だ」という意見に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた方は、50歳未満の方が高い傾向が見られました。

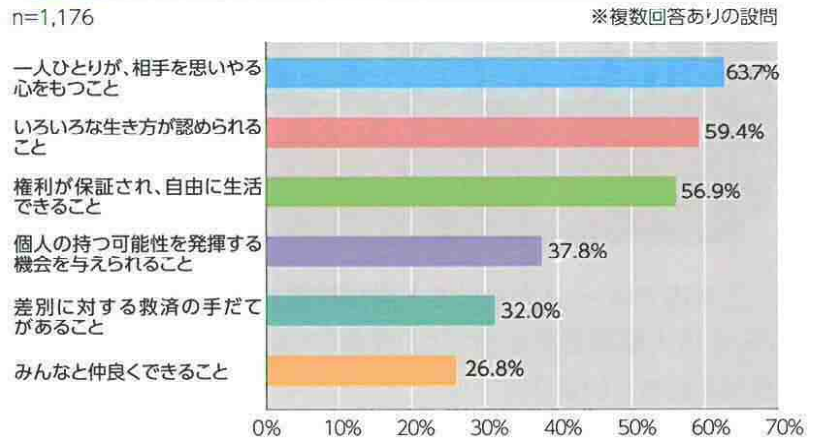
## 2 人権侵害の経験や対応など

### ■人権侵害を受けたことがあると答えた方は前回調査よりも11.1ポイント増加

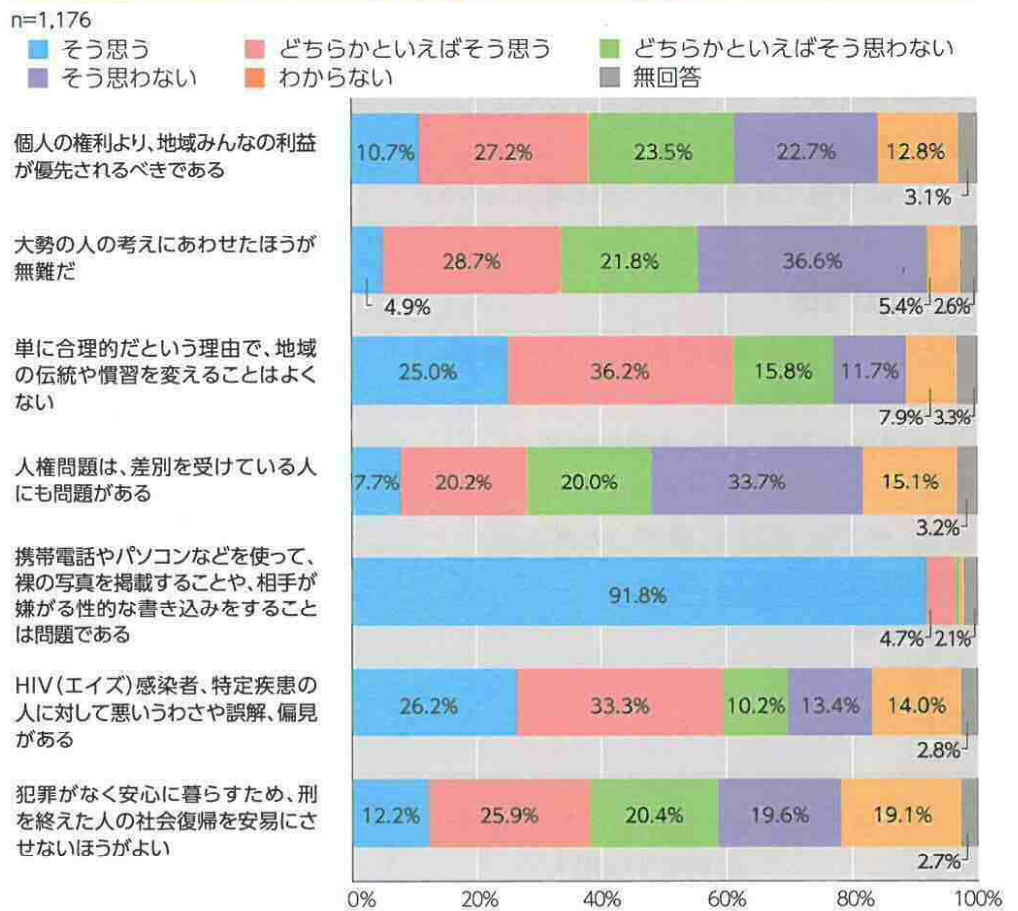
人権侵害を「過去に受けた」と答えた方は30.2%、「今受けている」と答えた方は5.2%で、それらを合わせると、人権侵害を受けたことがある方は35.4%となり、前回調査と比較すると、11.1ポイント増加しています。

なお、人権侵害を過去に受けたと回答された方のうち、相談された方は20.8%、さらに解決したと答えた方は56.6%でした。

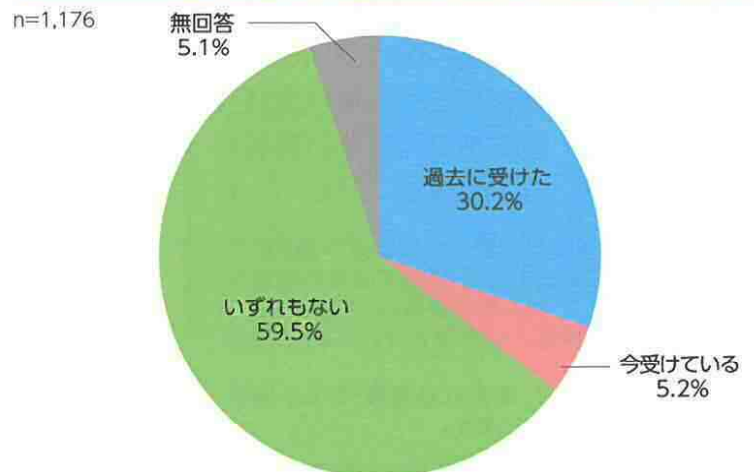
### 図1-① 人権が尊重されるとは



### 図1-② 人権などについてどう思うか



### 図2-① 人権侵害を受けた経験





**■「パワーハラスメント」を受けたことがある方は前回調査よりも5.5ポイント増加**

人権侵害を受けた内容は、「学校などでのいじめ」が30.3%と最も多く、次いで「パワーハラスメント」が24.8%、「プライバシーの侵害」が10.8%と続きます。前回調査と比較すると、「プライバシーの侵害」が6.0ポイント、「学校などでのいじめ」が4.4ポイント減少している一方で、「パワーハラスメント」を受けたことがあると答えた方の割合が5.5ポイント増加しています。

平成25年度の人権に関する県民意識調査でも「職場でのいじめや嫌がらせ」を受けた方が5年前の平成20年度から10.3ポイント増加しており、同じような傾向がみられました。

**■人権侵害を与えた経験がある(あるかもしれない)と答えた方は前回調査よりも9.3ポイント減少**

人権侵害を与えた経験は、「ないと思う」と答えた方は57.7%、「あると思う」と「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」と答えた方は、あわせて34.3%となっています。前回調査と比較すると、「ないと思う」と答えた方は11.0ポイント増加し、「あると思う」と「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」と答えた方は、あわせて9.3ポイント減少しています。

年齢別にみると、「あると思う」と「自分では気づかなかったが、あるかもしれない」と答えた方は50歳未満の方に多い傾向がみられました。

**■知人の差別発言等に「はっきりと注意する」「さりげなく差別はいけないことを伝える」と答えた方は、あわせて72.8%**

「気分を害さないようにさりげなく、差別はいけないと伝える」(63.4%)が最も多く、「人間関係が気まずくなると困るので、何も言わない」(17.2%)「差別はいけないとはっきりと注意する」(9.4%)「人が何を言おうと、私には関係ない」(3.3%)と続きます。

また、年齢別にみると、「人が何を言おうと、私には関係ない」と答えた方は、20歳代が最も多く、次に30歳代と続きます。一方で、「差別はいけないとはっきりと注意する」と答えた方は80歳以上が最も多く、次に70歳代、40歳代と続きます。

図2-② 受けた人権侵害の内容

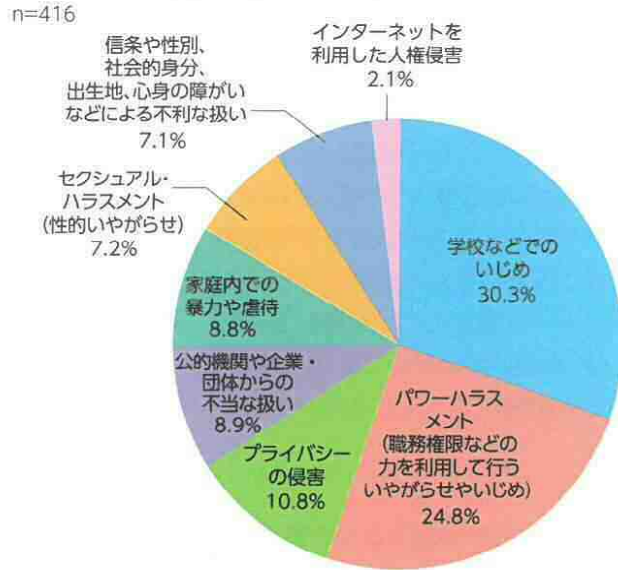


図2-③ 人権侵害を与えた経験の有無

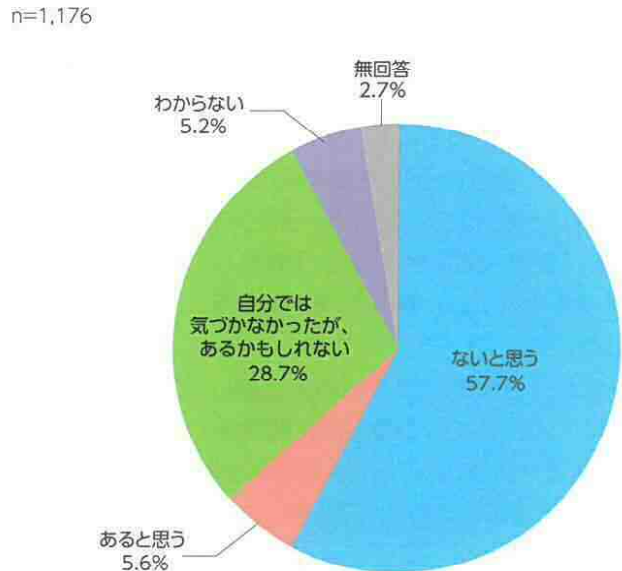
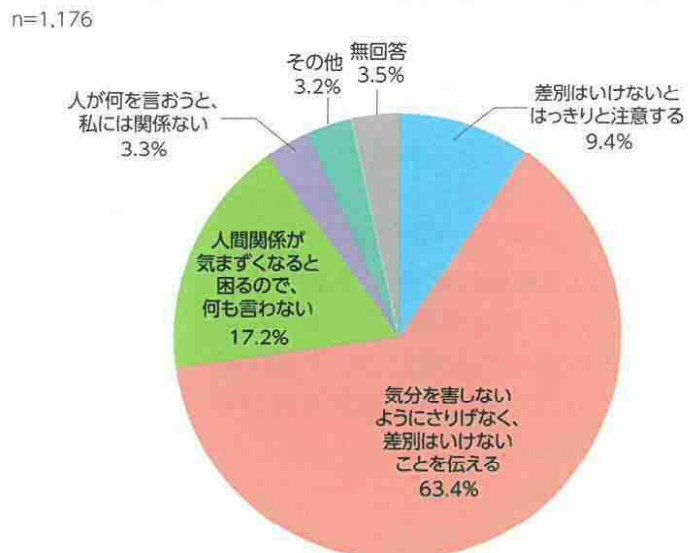


図2-④ 知人の差別発言等への対応



### 3 過去に経験した事柄

#### ■人権に関して、聞いたり教えられたりした相手は「家族」が最も多い

全体的に、聞いた(教えられた)相手が「家族」からという回答が最も多い中、「親戚」や「近所の人」については、「対象地域の人や在日の外国人とつきあうことや、障がいのある人とかかわるのはよくない」という設問に多くみられ、「差別やいじめはよくない」では少ないことが顕著に表れています。なお、「差別やいじめをしてはいけない」については、「先生」が多くなっています。

#### ■「対象地域の人や在日の外国人とつきあうことや、障がいのある人とかかわるのはよくない」と聞いて(教えられて)、3割以上の方が賛同または容認したと回答

「対象地域の人や在日の外国人とつきあうことや、障がいのある人とかかわるのはよくない」と人から聞いて(教えられて)、「そのとおриだと思った(賛同)」「そういう見方もあるのかと納得した(容認)」と答えた方は34.6~38.3%でした。一方で、「反発・疑問を感じた」「おかしいという気持ちを伝えた」と答えた方は46.5~49.9%でした。

年齢別にみると、「差別を受けている人と接してはいけない」という内容の3つの設問に賛同または容認したと答えた方は、他の年代よりも20歳代と80歳以上に多くみられる傾向がありました。

### 4 女性の人権について

#### ■「女性は結婚したら、自分自身のことより、夫や子どもなど家族を中心に考えて生活する方がよい」と答えた方は男性35.8%、女性37.7%

「女らしく、男らしくにとらわれず、自分らしく生きていくための目標をもつべき」という設問に肯定的な回答の方が最も多く、91.3%となっています。年齢別にみると、右図の上から2つの設問については年齢が若くなるにつれて、それ以外の3つの設問については年齢が高くなるにつれて、肯定的な回答の方が多い傾向がみられました。

図3-① 聞いたり教えられたりした人

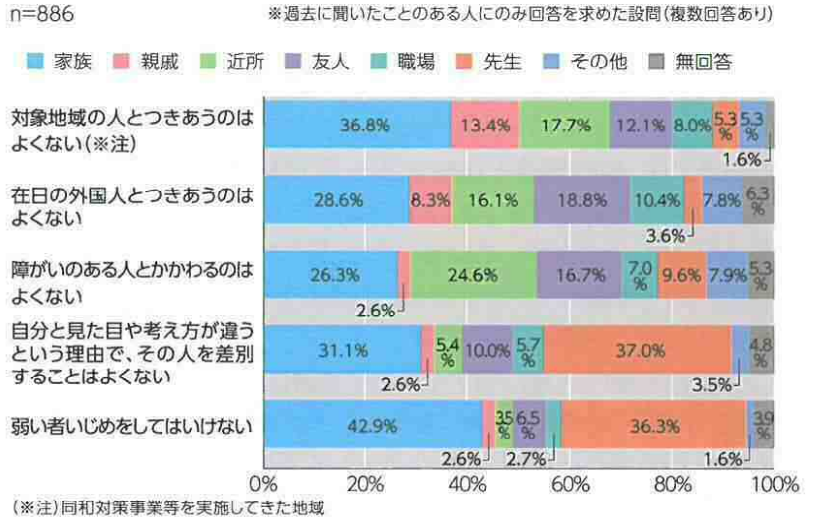


図3-② 聞いて(教えられて)感じたこと

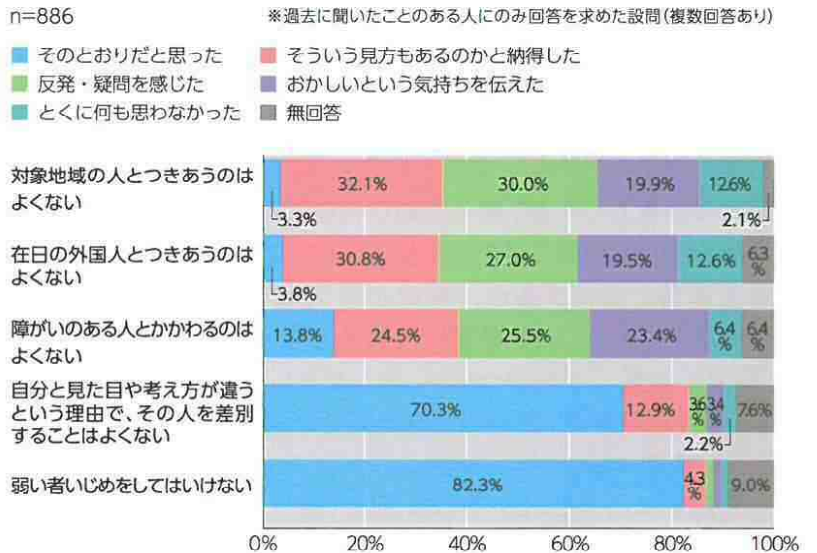
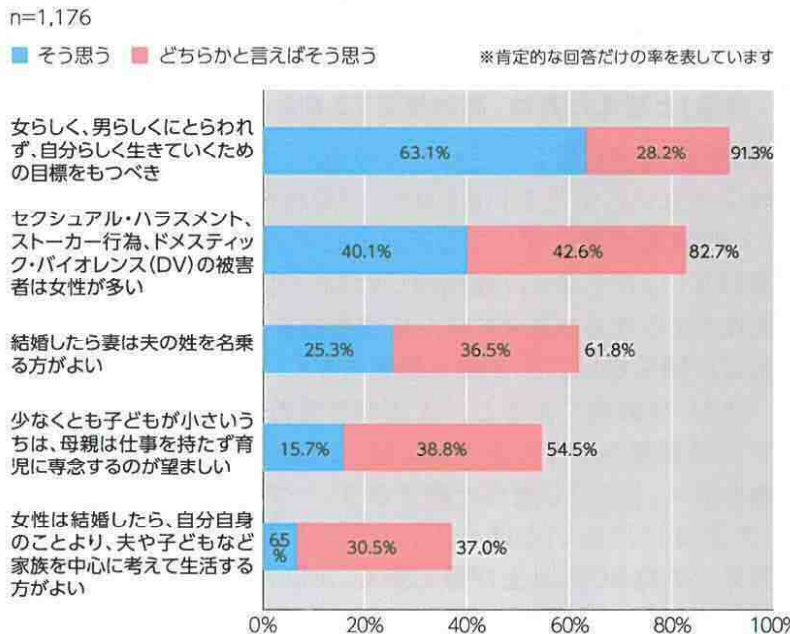


図4 女性の人権について





## 5 子どもの人権について

■約3割の方が「教師や保護者が指導やしつけのために子どもに体罰を加えてもよい」と回答

「日本に住む外国人の子どもで、日本語の理解が不十分な子どもには支援するべきだ」という設問に対して肯定的な回答の方が最も多く、88.5%となっています。年齢別にみると、「住んでいる地域に児童養護施設が建設されることに抵抗はない」という設問に肯定的な回答の方は年齢が若くなるにつれて多くなっており、「教師の体罰はやむを得ない」に肯定的な回答の方は70歳代、40歳代、80歳以上の順に多くなっている傾向がみられました。

## 6 高齢者の人権について

■すべての設問に肯定的な回答が86.5～94.6%と多い傾向

「住んでいる地域に特別養護老人ホームが建設されてもかまわない」という設問に肯定的な回答の方が最も多く、94.6%となっています。年齢別にみると、「高齢者が高齢者福祉施設に入所する場合は、高齢者本人の意思を尊重するべきである」に肯定的な回答の方は、年齢が高くなるにつれて多くなっていますが、それ以外の設問について肯定的な回答の方は、すべて年齢が若くなるにつれて多くなっている傾向がみられました。

## 7 障がいのある人の人権について

■「障がいのある子どもも、他の子どもと一緒に授業を受けるべきである」と答えた方は67.4%

「障がいのある人が、能力や経験を発揮して働ける場をもっと増やす必要がある」という設問に肯定的な回答の方が最も多く、94.2%となっています。年齢別にみると、「障がいのある子どもも、他の子どもと一緒に授業を受けるべきである」という設問以外は、すべて年齢が若くなるにつれて肯定的な回答の方が多くなっている傾向がみられました。

図5 子どもの人権について

n=1,176

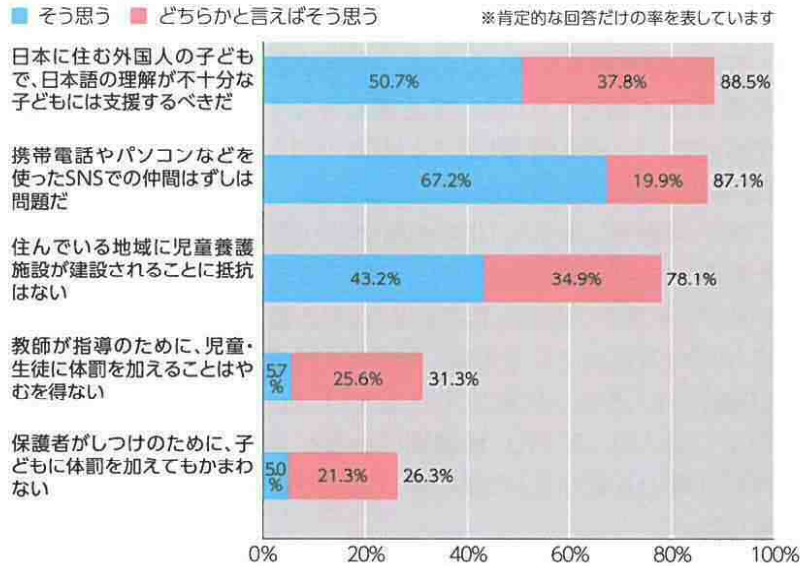


図6 高齢者の人権について

n=1,176

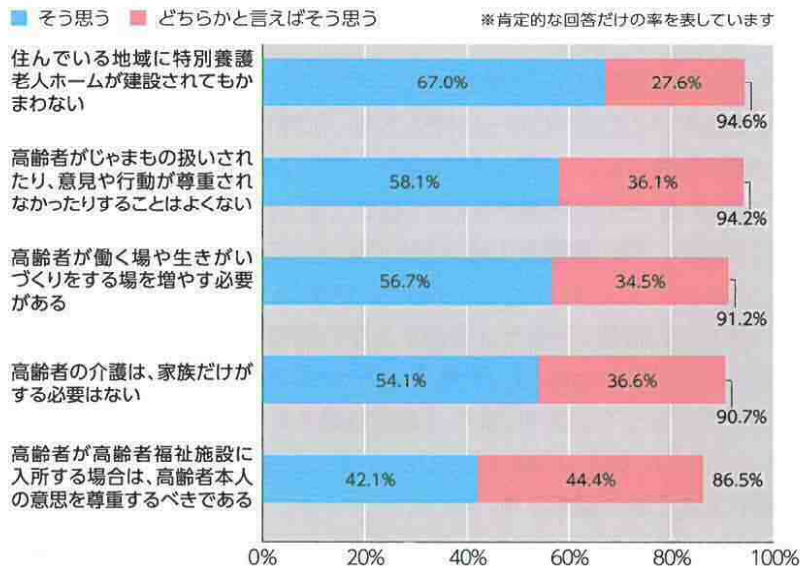
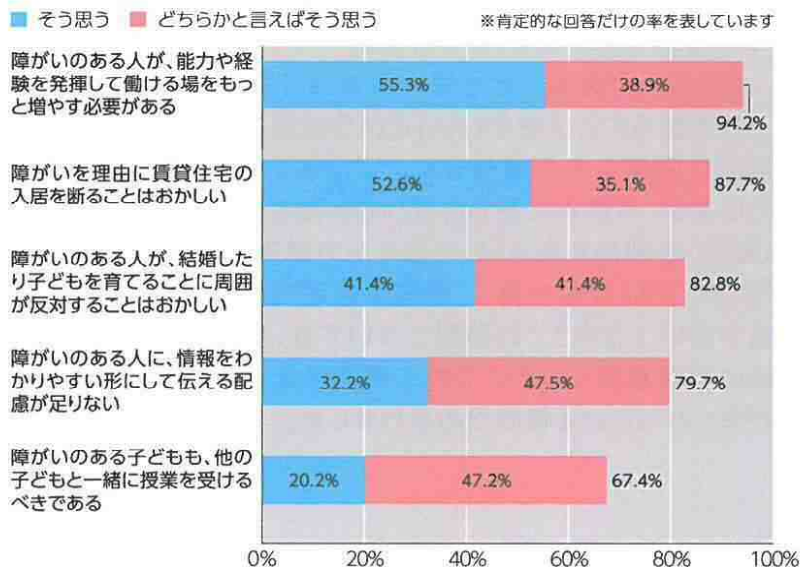


図7 障がいのある人の人権について

n=1,176





## 8 同和問題について

### ■ 同和問題を「学習したことはない」と答えた方は11.3%

同和問題を最も学習したのは、「小学校高学年の授業で」と答えた方が34.6%と最も多く、「住民学習会で」(19.9%)「学習したことはない」(11.3%)「中学校の授業で」(10.6%)と続きます。

また、年齢別にみると、「小学校高学年の授業で」と答えた方は50歳未満でそれぞれ50%を超えています。一方で、「学習したことはない」と答えた方が10%を超えているのは、70歳代(19.2%)、20歳代(17.8%)、80歳以上(15.3%)、60歳代(11.2%)となっており、地域別にみると、「自由が丘」「青山」「緑が丘」の順に多い傾向がみられました。

### ■ 5割以上の方が「同和問題が、いわれのない差別であるということがわかった」、約3割の方が「同和問題(差別)は許せないと思う気持ちをもった」と回答

多かった回答は、「同和問題が、いわれのない差別であるということがわかった」(55.5%)、「同和問題(差別)は許せないと思う気持ちをもった」(32.4%)、「学習するから同和問題がなくならないと思った」(23.2%)、「同和問題を人権学習の中心として扱うことはおかしいと思った」(20.9%)と続きます。

また、年齢別にみると、「学習するから同和問題がなくならないと思った」と答えた方は60歳代が最も多くなっています。また、「あまり覚えていない」と答えた方は、20歳代(23.0%)が最も多く、30歳代(14.7%)が続きます。

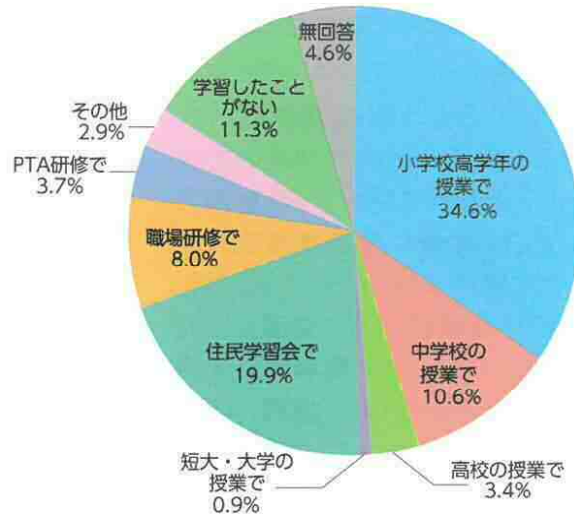
## 9 外国人の人権について

### ■ 外国人だという理由で関わりを拒否する内容の設問に「おかしい」と答えた方は約7~8割

「外国人であることを理由に賃貸住宅の入居を断ることはおかしい」という設問に肯定的な回答の方が最も多く、77.7%となっています。年齢別にみると、「ヘイトスピーチ(※注)を認めてもよい」と答えた方は30歳代(24.5%)が最も多く、右図の肯定的な回答の多い上から3つの設問については、全体的に年齢が若くなるにつれて肯定的な回答が多くなっている傾向がみられました。

## 図8-① 同和問題を最も学習した場

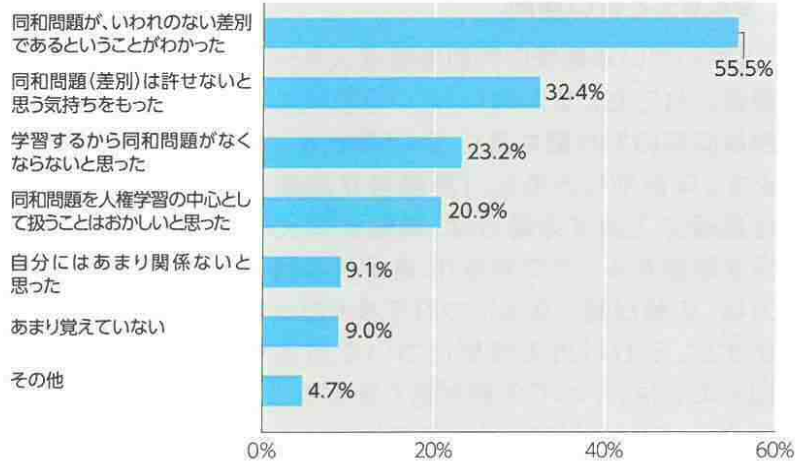
n=1,176



## 図8-② 同和問題の学習についての感想

n=1,043

※学習したことがある人へのみ回答を求めた設問(複数回答あり)

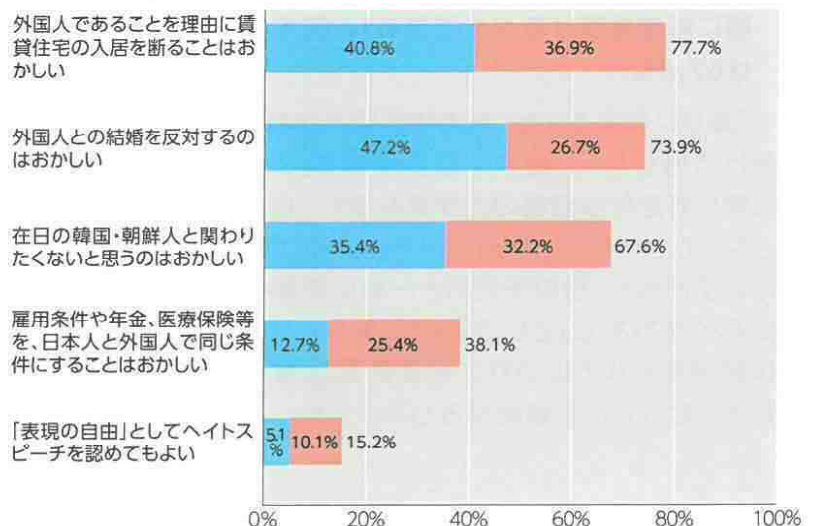


## 図9 外国人の人権について

n=1,176

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う

※肯定的な回答だけの率を表しています



(※注)人種や宗教、性別、性的指向などを理由に、暴力や差別をおこなうような主張や行動をすること

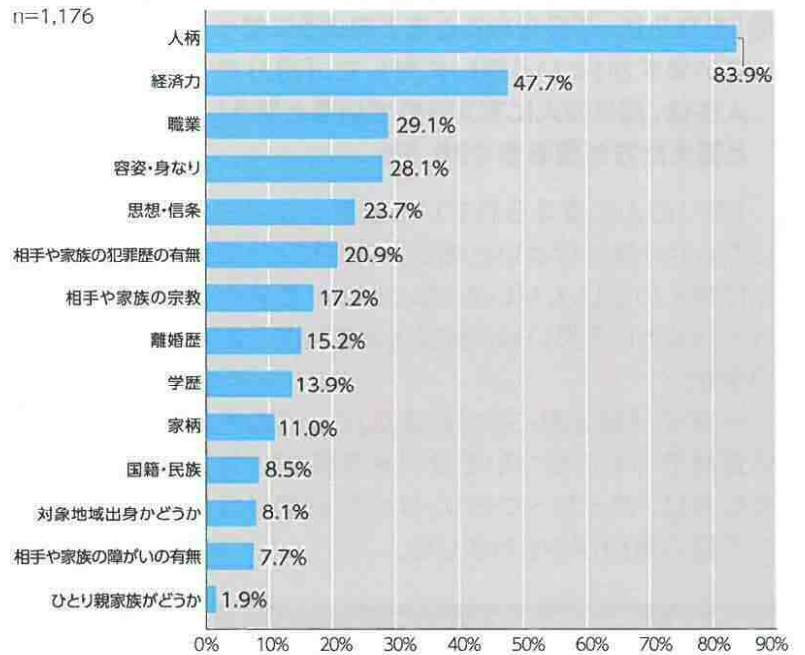
## 10 結婚観等について

### 結婚相手を考える時に、60歳以上の方の約1割が「対象地域出身かどうか」が気になると回答

右の図は、「結婚相手を考える時に気になる(なった)こと」を回答の多かった順に並べたものです。「人柄」と答えた方が最も多く83.9%となっており、それ以外はすべて50%以下となっています。

年齢別にみると、「経済力」「職業」「容姿・身なり」「思想・信条」「離婚歴」「家柄」と答えた方の割合が最も多いのは20歳代でした。また、「対象地域出身かどうか」と答えた方は、年齢が高くなるにつれて多い傾向がみられました。

図10-① 結婚相手を考える時に気になる(なった)こと

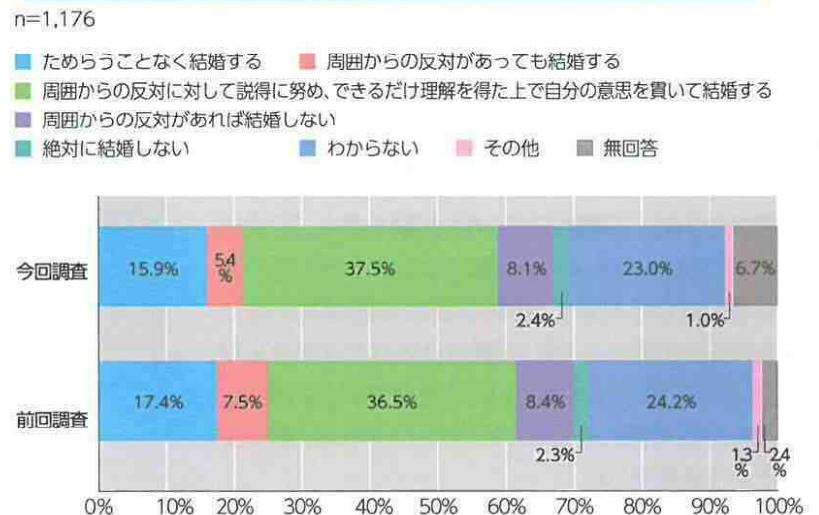


### 対象地域の人との結婚に関する意識については、「周囲からの反対に対して説得に努め、できるだけ理解を得た上で自分の意思を貫いて結婚する」という回答は、前回調査よりも1.0ポイント増加

なお、この答えをした方は37.5%で、県民意識調査の32.3%よりも5.2ポイント上回っています。

その一方で、「ためらうことなく結婚する」と答えた方は前回調査より1.5ポイント減少し、県民意識調査と同じような減少傾向がみられました。なお、「結婚する」と答えた方の合計(図10-②の左からの3項目の合計)でも、前回調査より2.6ポイント減少しています。

図10-② 対象地域の人との結婚に関する意識  
【自分の結婚の場合】

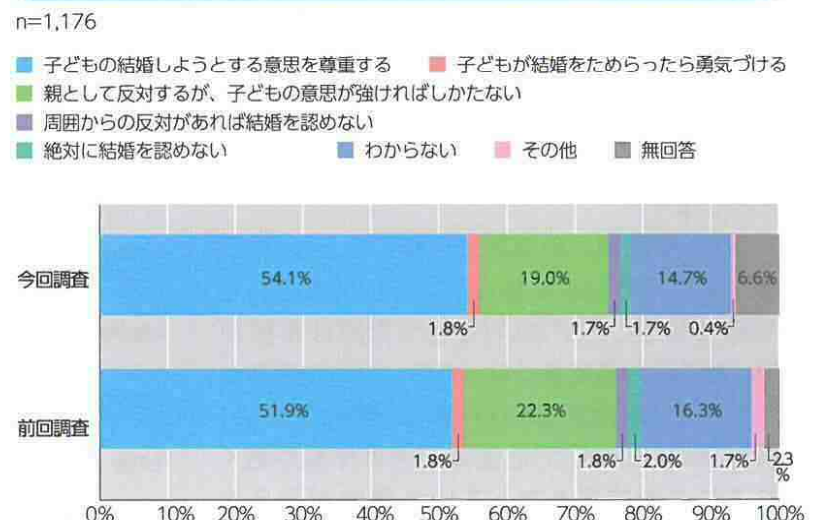


### 親として子どもの結婚を考えた場合、「子どもの結婚しようとする意思を尊重する」が前回調査よりも2.2ポイント増加

親として子どもの結婚を考えた場合は、「子どもの結婚しようとする意思を尊重する」「子どもが結婚をためらったら勇気づける」の合計が前回調査よりも2.2ポイント増加しています。「反対するがしかたない」と答えた方は、3.3ポイント減少しています。

年齢別にみると、59歳以下の方は「子どもの結婚しようとする意思を尊重する」と答えた方が半数を上回っている一方で、「周囲からの反対があれば結婚を認めない」と答えた方が最も多いのは20歳代と60歳代という傾向がみられました。

図10-③ 対象地域の人との結婚に関する意識  
【親として子どもの結婚を考えた場合】





## 11 自尊感情について

「あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか」という問いに対して、「自分の人生は、周りの人に支えられていると思う」と答えた方が最も多く90.3%

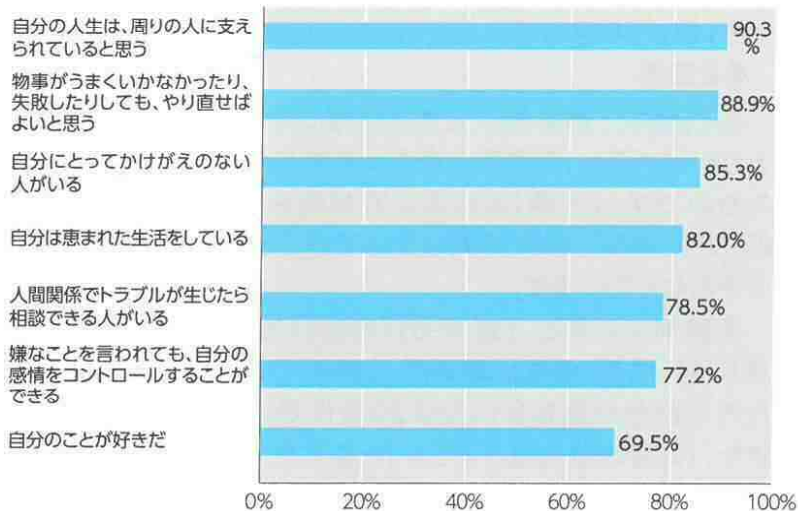
「周りの人に支えられていると思う」「失敗してもやり直せばよいと思う」「自分にとってかけがえのない人がいる」など他者に受容されているという思いは8割以上の方が持っています。

一方で、「自分のことが好きだ」という自己肯定感そのものについては、「そう思う」と答えた方は7割となっており、ほかの設問に比べて低い傾向がみられました。

図11 あなたは、ご自身のことをどのように思っていますか

n=1,176

※肯定的な回答だけの率を表しています



## 12 住民学習会について

5割以上の方が住民学習会に参加したことがないと回答

住民学習会(※注)に「参加したことがない」と答えた方は54.5%で、以下「ときどき参加している」(29.3%)「できる限り毎回参加している」(8.8%)と続きます。

また、年齢別にみると、「参加したことがない」と答えた方は、20歳代の94.4%が最も多く、30歳代の83.9%が続く、年齢が高くなるにつれて減少する傾向がみられます。住民学習会の開催方法等が地域ごとに異なるため、正確な比較はできませんが、地域別にみると、「参加したことがない」は「青山」「緑が丘」の順に多くなっており、いずれも7割以上という結果でした。

図12-① 住民学習会に参加されたことはありますか

n=1,176

■ 参加したことがない ■ ときどき参加している  
■ できる限り毎回参加している ■ 無回答



(※注)自治会ごとに開催される人権学習会のこと

「興味・関心がないから」参加しなかったという回答が21.3%

「忙しくて行く時間がない」と答えた方が40.4%と最も多く、以下「いつあるか知らない(案内がない)」(27.1%)「興味・関心がない」(21.3%)「行くのがめんどろ」(18.3%)「人権のことは、会に参加しなくてもよく知っている」(11.0%)と続きます。

また、年齢別にみると、「人権のことは、会に参加しなくてもよく知っている」と「参加しても身になることがない」と答えた方は年齢が高くなるにつれて多くなっており、「いつあるか知らない(案内がない)」「興味・関心がない」「行くのがめんどろ」と答えた方は年齢が若くなるにつれて多くなっている傾向がみられました。

図12-② 住民学習会に参加しなかった理由

n=985

※毎回参加している方以外に回答を求めた設問(複数回答あり)

